

令和6年度 白山国立公園岐阜県協会 後期事業報告

(事業年度令和6年12月1日～令和7年5月31日)

1. 基本方針

白山国立公園は、昭和37年に国立公園に昇格し、白山ユネスコエコパークにも登録されている。この雄大な大自然が残る白山国立公園を、岐阜県側の関係市村等が連携を一層密にし、白山の自然保護と登山道及び各公園施設等の整備を促進し、更なる登山・観光客等の受け入れと「岐阜の白山」の宣伝に努める。

2. 具体的事業

冬季は降雪の関係で事業実施が難しいため具体事業は前半に実施済み。

3. その他 (参考)

【関係事業等】

① 公園諸施設の整備・補修を国・県に要望

死亡事故に伴う平瀬道改修の実施の決定

※昨シーズンの大雪により白山公園線通行止めのためR7年度の実施は不可

② 遭難防止対策事業の推進

白山山岳遭難対策協議会との協調 (登山に関する啓発キャンペーン等)

③ 美化対策事業

- ・公園内の清掃と監視 (白川村大白川園地内) 7月～10月
- ・神鳩ノ宮避難小屋トイレ清掃管理
- ・登山道の草刈り (北縦走線、三方岩線、鶴平新道、三方崩山線、石徹白道)
- ・ごみ持ち帰り運動の推進 通年
- ・白山国立公園内管理委託 (白川村大白川園地内)
登山口避難小屋雪囲い設置・滝展望所柵等設置・園地内草刈り他
- ・大白川園地清掃業務委託

④ 環白山保護利用管理協会事業への参画

⑤ 白山ユネスコエコパーク協議会への参画